



駒場 昭夫
(市民連合)

ミヤリーをもっと活用し市のPRを

問 宇都宮市とミヤリーのPR活動について聞く。
①JRR宇都宮駅西口に設置されている大谷石造りの餃子像は、場所が分かりづらいいとされている。場所を移転するとともに、ミヤリー像を大谷石で作製し肩を並べるように設置してはどうか。
②等身大のミヤリー人形を本庁・地区市民センターなどの玄関に設置し、来訪者のお出迎えをしてはどうか。

答 ①餃子像は、市の貴重な観光スポットで多くの方々に親しまれているが、「より分かりやすい場所へ移転して欲しい」などの意見への対応や「餃子のまち宇都宮」の更なるPRを図るため、ペDESTリアンデッキへの移動に向けて、所有者である宇都宮観光コンベンション協会や関係団体などとともに準備を進めている。ミヤリー像の設置は、素材に大谷石が適しているかなどについて、専門家からアドバイスをいただきながら検討する。
②おもてなしの向上とミヤリーのPRに効果的であるため、等身大の人形の設置も含め各施設にふさわしい活用手法やサイズや設置場所などについて検討していく。



▲移転前の餃子像

その他の質問項目

- ①第2次宇都宮市食品安全推進計画②第2次宇都宮市国際推進計画③危険ドラッグの啓発活動④市民へのおもてなしの向上策（接遇に関する改善ほか）⑤無電柱化の取り組み⑥JRR宇都宮駅東側LRT導入予定ルート⑦防災訓練⑧涙活⑨動物の殺処分問題

**LRT路線計画
下平出駅の位置を
再検討せよ**



郷間 康久
(統一)

問 新しいLRT導入予定ルート概略図では、下平出停留場が平石地区市民センター付近から他に移動されていたが、この変更は平石地区住民の生活実情を全く無視したものであり、早急な再検討を求める。また、住民にはいつ頃説明するのか。

答 宇都宮向田線と新4号国道との交差点は、交通への影響が懸念された箇所であり、LRTが宇都宮向田線を通過する条件で交通シミュレーションを実施した結果、交差点改良や信号制御の最適化などを施した場合でも交差点の容量を大きく超える交通量が発生し、現

状よりも大幅に混雑すると予測された。
シミュレーションの結果や交通管理者、道路管理者との協議などを踏まえ、宇都宮向田線と新4号国道交差点の南側にある盛土部分を通過するルートを有力な案として示した。

下平出停留場は、ルートの変更に伴い、平石地区市民センターから南に約400m離れた平石中央小学校周辺に移動したものであり、具体的な位置は、今後、利用者の利便性に配慮するとともに、年末から年度末にかけて地域に説明し、意見を聞きながら固めていく。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（給与制度の総合的見直し勧告、公契約条例の必要性）②セルクリーンセンター等の現状③平石地区の地域内公共交通のあり方④土砂災害対策⑤行政における婚活支援⑥困窮家庭向けの学習支援事業⑦特殊詐欺対策⑧寄贈図書を活用

発達障がい児者への支援拡充を



木村 由美子
(公明党)

問 発達障がい児・者への支援について聞く。
①子ども発達センターで把握している発達障がい児の人数と推移は。
②発達障がいの早期発見の機会として、健診にどのように取り組み、今後どのように充実させていくのか。また、医師の診察につなげる問診を行う保健師のスキルアップも重要であるが、その取り組みは。

答 ①子ども発達センターの医師の診察により発達障がいと診断された子どもは、23年度は32人、24年度は487人、25年度は519人と、年々増加している状況にある。
②保健師や心理相談員、

保育士が、行動観察や相談などを行い、医師の診察とあわせて、総合的に子どもの育ちを判断できるように体制の整備を行うとともに、今年度からは、幼児健康診査票への発達障がいに関する設問の追加などを行ってきた。

また、保健師が、問診に的確に対応できるよう、手引きの整備や、発達障がいや相談に関する研修を実施し、保健師のスキルアップに努めているところである。

今後、健康診査の充実と職員の人材育成を図りながら発達障がいの早期発見に努めていく。



その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（合併市町村基本計画の推進、自治体スマートフォン用アプリの取り組みほか）②地域活動の課題と支援（地域で自由に使える場所の確保ほか）③女性がもつ活躍できる社会の構築④手話の普及促進⑤雨水の有効利用の取り組み⑥教育行政